

# うちの学校 紹介しまあ!



その7  
**大町小学校**

豊かな自然の中、地域の方々の深い愛情に包まれ、大町小学校全校生90名は、安心して伸びやかに成長することができています。「夢や目標をもち、こころ豊かにたくましく生きぬく児童の育成」をまじめに やさしく 勇敢に を教育目標として、【お】大きな声であいさつする子、【お】思いやりのある子、【ま】周りの子と助け合う子、【ち】力いっぱいやり通す子、の育成をめざしています。今年度の本校の取組の一端を紹介します。

## 一、学びサポート協力校

兵庫県教育委員会まなびサポート協力校の指定を受け、「一人一人に確かなことばの力をつけ、豊かに学び合う子

の育成を図る」を研究主題に、児童のつまずき解消に向けて、全学年で段階的、系統的に「読み」の力を築く取組を進めています。また、講師を招いて授業研究を重ねることで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した指導方法や教材等の研究も行っています。

## 二、地域連携

10月14日には、「大町地域の方とのふれあい交流」と題し、地域の方々と共に、低学年は昔のお菓子作り、中学年は釜によるご飯炊き、高学年はグラウンドゴルフを行いました。さらに、米作りや川探険、朝の交通指導、防犯パトロール、避難訓練など様々な場面で協力をいただいています。また、近くの福祉施設との交流として、運動会や学習



グラウンドゴルフで交流

発表会への招待、踊りの出前訪問などを行っています。

## 三、縦割り活動

本校では様々な場面で全校生を十班に分けた縦割り活動を行っています。まずは毎日の掃除。六年生が中心になり、一年生もみんなに掃除の仕方を教えてもらい、今ではとても上手になりました。

他にも、昼休みの遊びや遠足、七夕やクリスマス会の集い等で縦割り活動を行っており、高学年ではリーダーシップや自己有用感、思いやり、低学年では上級生に対する憧れの気持ちの育成につながっています。

このような取組を通して子どもたちは、まじめに、やさしく、勇敢に成長しています。



縦割り掃除

## 「人権意識調査」から

シリーズ③

## 「高齢者」



【成人…有効回収数1225人・有効回収率40・8%】

## ■高齢者の尊厳が守られる地域づくり

2015年の国勢調査の結果では、日本全体の人口における65歳以上の割合は26.6%ですが、淡路市は34.2%

で、いち早く超高齢化社会に突入しています。

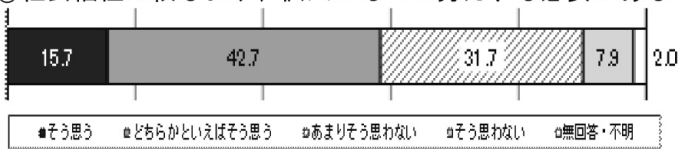
淡路市人権意識調査では、「社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」という自己責任論が多数を占め、「家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること」を問題がなると答える人が6割を超えています。

また、2015年の淡路島内の自殺者は37名で、60歳以上が、全体の約6割に当たるといふ状況も看過することができません。

「老人に冷たい国・日本」という本の著者である明治学院大学の河合克義教授は、「これまで日本に貢献してきた高齢者を『社会のお荷物』とするシステムがおかしい」と話されています。

高齢者が寝たきりになっても、認知症になっても尊厳のある個人として、健全で安らかな生活が保障される社会でなければなりません。そのためには、行政サービスを向上させるとともに、高齢者が持つ豊富な知識や経験が地域に還元される仕組みづくりや、お互いの見守りや支え合いが必要で

## ①社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある



## ②家族が寝たきりの高齢者の希望に反して、施設に入所させること

